第17回



市長コラム

てっちゃんのひとりごと

このコーナーでは、小林哲也市長が日々感じている思いや出来事などを隔月連載でお伝えしています。

「文化と伝統の薫るまち　～くまがや「第九」演奏会2024～」

昨年の11月24日に開催された「くまがや「第九」演奏会2024」に出演させていただきました。きっかけは熊谷市文化連合の嶋田（しまだ）会長さんから「熊谷市の文化芸術を盛り上げたい。今年は第九の演奏会があるんです。市長に出ていただければ盛り上がると思います。」「口パクでいいんですから。」とささやかれ、最後に「市長は文化と伝統の薫るまちをつくると言ってますよね。」とトドメを刺されて出演を受けてしまいました。



くまがや「第九」演奏会2024の様子

「口パクでいい。」を真に受け、練習会は7月に1度だけ参加、パートの一部の練習のみで、まだ第九の怖さに気付いていませんでした。その後、公務の日々が続き、気付けば10月中旬です。ふと夜中に目が覚め、「そういえば第九に出るんだよな、動画でも見てみるか。」と第九の第4楽章を初めて視聴。即座に「これは口パクは無理・・・。」と青くなり、仕事を口実にどうキャンセルしようか考えましたが時すでに遅し、パンフレットに私の名前が載るらしいという噂も聞こえ観念しました。そこから自宅で一人練習会。歌に入るタイミングやドイツ語の早口言葉、輪唱の音程、練習すればするほど湧き上がる絶望感。



そんな1か月を過ごしていざ本番。当日のリハーサルが私にとって初めての全体練習でした。どうにか一緒に口を開け、同じタイミングで楽譜をめくれたような感じでしたが、共演した皆さんにご迷惑をおかけしました。そんな状態にも関わらず達成感は十二分でした。またお声がけいただいたら出てしまうかも・・・・